

皮膚科

田所 丈嗣

当科では、国立病院機構が担うべき医療のなかでも皮膚腫瘍を含めた皮膚がんに関心を置いた診療に従事しており、皮膚がんの適切な診断と治療を診療内容の基本として、外科的ならびに内科的対応が可能です。当院は皮膚がんに対する手術療法ならびに化学療法、放射線療法などの集学的な治療を行える数少ない施設の一つであり、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医をはじめ優れたスタッフと恵まれた医療設備のもと、皮膚がんに対する正確な診断と十分な説明、事実裏付けられた治療をモットーに、皮膚がん患者の社会的な生活の質を第一とした診療を行い、皮膚がんの中核病院としての役割を果たすべく責任を持って診療にあたっています。また、皮膚腫瘍の診断は容易ではないものも多いためダーモスコピーによる非侵襲的な検査を導入し、先進医療としての RI 法と蛍光色素法を併用した悪性黒色腫に対するセンチネルリンパ節生検も可能で、臨床検査科病理部門との合同カンファレンスを行うことで診断精度を高めるとともに、治療方針を含めたセカンド=オピニオンの要請にも十分に応えられる体制を整えています。また、皮膚がん切除後の組織欠損に対しても、整容面や機能面に配慮した皮膚外科的な対応を行っています。更に、当科では、下肢静脈の弁不全によって発生する下肢静脈瘤に対する専門外来を開設し、非侵襲的な超音波ドップラー検査や脈圧波測定検査を用いた専門的な診療を行うとともに、保存的治療に加えて短期入院による外科的治療を数多く経験し、良好な治療成績を残しています。一方、パッチテストによる金属アレルギー等の接触皮膚炎の診断と治療、あざの相談と治療など専門性の高い診療にも対応し、難治性皮膚疾患に関しても、地域の医療施設や近隣の総合病院から専門的な診療を要する患者を積極的に受け入れるとともに、当院において加療中の他科患者の皮膚疾患についても責任を持って診療にあたっています。以上のような当科における診療内容の性格上、病状説明や検査、処置等に十分な時間をかける必要性があり、安定期患者には密接な病診連携のもとに地域の医療機関における継続診療を勧めつつ、他の医療機関から広く紹介患者を受け入れることで地域のニーズに積極的に応えるよう努力しています。

【2011 年度研究発表業績】

A-0

Shirasaka T, Tadokoro T, Yamamoto Y, Fukutake K, Kato Y, Odawara T, Nakamura T, Ajisawa A, Negishi M. Investigation of emtricitabine-associated skin pigmentation and safety in HIV-1-infected Japanese patient. J Infect Chemother 2011;17(5):602 - 608 (2011 年 3 月)

A-1

田所丈嗣 : Melkersson-Rosenthal 症候群「皮膚科診療カラーアトラス大系：第 7 巻」鈴木啓之、神崎保編著、174、講談社、東京、2011 年 5 月

A-3

永松麻紀、東祥子、池田彩、小澤健太郎、田所丈嗣：肛囲に発生した基底細胞癌の2例「臨床皮膚科」65(7)：P.535 - 538、2011年6月

田所丈嗣：皮膚のがん：よくある患者相談とその診療「日臨皮会誌」28(5)：P.630 - 635、2011年9月

永松麻紀、東祥子、小澤健太郎、田所丈嗣：ソラフェニブによる多形紅斑型薬疹の1例「皮膚科の臨床」53(10)：P.1399 - 1402、2011年10月

B-3

田所丈嗣：皮膚のがん：よくある患者相談とその臨床。第27回日本臨床皮膚科医会総会・学術大会、大阪、2011年6月

B-4

永松麻紀、東祥子、池田彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、古川陽子：左耳後部に発生したMilia en Plaqueの1例。第110回日本皮膚科学会総会、誌上発表：震災のため学会中止、2011年4月

B-6

小澤健太郎、大島衣里子、宮崎明子、池田彩、永松麻紀、田所丈嗣：バザン硬結性紅斑の1例。ひふ勉強会、大阪、2011年4月

小澤健太郎、宮崎明子、池田彩、大島衣里子、永松麻紀、田所丈嗣：ダーモスコピーでirregular globulesを示した足底の悪性黒色腫。ひふ勉強会、大阪、2011年4月

小澤健太郎、野口史人、永松麻紀、大島衣里子、宮本麻美、宮崎明子、池田彩、田所丈嗣：左上腕色素性母斑に生じた悪性黒色腫の1例。ひふ勉強会、大阪、2011年4月

永松麻紀、東祥子、小澤健太郎、田所丈嗣：局所性温熱蕁麻疹の1例。第425回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2011年6月

小澤健太郎、大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、宮崎明子、池田彩、田所丈嗣：著明なムチン沈着を伴う皮膚筋炎？の1例。ひふ勉強会、大阪、2011年6月

宮本麻美、大島衣里子、永松麻紀、池田彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：Malignant nodular

hidradenoma と考えた 1 例。第 197 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2011 年 6 月

小澤健太郎、永松麻紀、池田彩、宮崎明子、田所丈嗣：Parallel ridge pattern を示した手掌の色素斑。
第 51 回湾岸勉強会、神戸、2011 年 7 月

宮崎明子、永松麻紀、東祥子、池田彩、小澤健太郎、田所丈嗣：ポーエン病が発生した汗孔角化症
の 1 例。第 104 回近畿皮膚科集談会、大阪、2011 年 7 月

小澤健太郎、池田彩、大島衣里子、宮本麻美、宮崎明子、永松麻紀、田所丈嗣：老人性血管腫から
の生検で診断し得た血管内リンパ腫。ひふ勉強会、大阪、2011 年 9 月

大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、池田彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：ダーモスコピーで
irregular dots を示した足底の悪性黒色腫。ひふ勉強会、大阪、2011 年 9 月

小澤健太郎、永松麻紀、大島衣里子、池田彩、宮崎明子、田所丈嗣：上口唇の脂腺母斑に生じた基
底細胞癌。ひふ勉強会、大阪、2010 年 10 月

小澤健太郎、大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、池田彩、宮崎明子、田所丈嗣：左上腕の色素性母
斑に生じた悪性黒色腫。第 52 回湾岸勉強会、神戸、2011 年 10 月

小澤健太郎、大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、宮崎明子、田所丈嗣：敗血症の経過中に生じたス
ウィート病。ひふ勉強会、大阪、2011 年 11 月

大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、池田彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、藤井秀孝：ダーモ
スコピーで irregular dots/globules を示した足底の悪性黒色腫。第 199 回大阪皮膚科症例検討会、大
阪、2011 年 11 月

大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、池田彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣、藤井秀孝：ダーモ
スコピーで irregular dots/globules を示した足底の悪性黒色腫。第 428 回日本皮膚科学会大阪地方会、
大阪、2011 年 12 月

小澤健太郎、大島衣里子、永松麻紀、宮崎明子、宮本麻美、田所丈嗣：Folliculotropic mycosis fungoides ?。
ひふ勉強会、大阪、2011 年 12 月

小澤健太郎、宮本麻美、大島衣里子、永松麻紀、田所丈嗣：顔面に生じた結節性筋膜炎。ひふ勉強
会、大阪、2012 年 1 月

小澤健太郎、東祥子、大島衣里子、宮本麻美、永松麻紀、田所丈嗣：ソラフェニブによる顔面の多発性 follicular cyst。第 53 回湾岸勉強会、神戸、2012 年 1 月

小澤健太郎、東祥子、宮本麻美、大島衣里子、永松麻紀、田所丈嗣：HIV 感染者に生じた結節型カポジ肉腫。ひふ勉強会、大阪、2012 年 2 月

小澤健太郎、永松麻紀、宮本麻美、大島衣里子、東祥子、田所丈嗣：胸部の悪性リンパ腫。ひふ勉強会、大阪、2012 年 3 月

小澤健太郎、宮本麻美、宮崎明子、永松麻紀、大島衣里子、東祥子、田所丈嗣：皮膚潰瘍で発症した左胸部の丹毒様癌。ひふ勉強会、大阪、2012 年 3 月

永松麻紀、宮本麻美、大島衣里子、小澤健太郎、田所丈嗣：下口唇に発症した SCC の 1 例。第 200 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2012 年 3 月

宮本麻美、東祥子、大島衣里子、大島衣里子、永松麻紀、小澤健太郎、田所丈嗣：ソラフェニブによる顔面の多発性 follicular cyst。第 430 回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2012 年 3 月

B-8

小澤健太郎：ご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2011 年 4 月

田所丈嗣：病理学各論 V（皮膚）。看護学校講義、大阪、2011 年 4 月

田所丈嗣：皮膚のがんの診断と治療。平野医師会学術講演会、大阪、2011 年 9 月

田所丈嗣：皮膚外科。大阪大学医学部講義、大阪、2011 年 9 月

田所丈嗣：褥瘡-なりたちと治療-。褥瘡研修会、大阪、2011 年 10 月

小澤健太郎：ご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2011 年 10 月

田所丈嗣：喫煙と皮膚の老化。禁煙プロジェクトセミナー、大阪、2012 年 2 月